

9月定例会での注目点

今後の川口のために議論が必要

9月議会で質疑された論点を紹介します。妥当な判断として評価したいものもありますし、中長期的に考えると課題があり、もっと深く考えて欲しいと思うものもあす。今やらなければ、手遅れになってしまうかもしれないこともあります。こうした課題については、今後の川口をどのようにしていくのか、市民的な議論が求められます。

課題1 子育てしやすいまちへ

給食費の一部、一時的に市の負担に

9月議会では、下半期の給食費のうち値上げ分（小学校は、一食当たり35円、中学校は、一食当たり45円）を市が負担することになりました。給食費は、小学校で3,895円/月、中学校で4,565円/月、年間で1人当たり5~6万円に上ります。特に複数の子どもを持つ家庭にとって大きな負担です。複数の子どもを持つ過程ではなおさらです。これまで市は「国の方針で給食費は保護者負担が原則」とし、すべての児童生徒を無償化した場合年間20億円かかるという財政的な理由をあげて来たことを考えれば、今回、一時的であったにせよ、その一部の負担が軽減されたことは一歩前進です。

給食費の無料化はまだ

これまで、市議会では給食費の無料化を求める声が多くありました。全国的にみれば、小中学校ともに無償化している自治体は、76市町村（全体の4.4%、文部科学省調べ）。給食費が無償化になれば、子育て世代に「より選ばれるまち」になりますし、浮いた費用は地域での消費にまわることが期待できます。

課題2 肢体不自由児特別支援学校開設へ一歩前進

肢体不自由児のための特別支援学校は、川口市内にはなく、越谷市や和光市にある学校に通っています。スクールバスで片道1時間半もの時間がかかることから、大変な負担になっているだけでなく、吸痰などの医療的ケアが必要な場合、バス

を利用できず、保護者が自ら送迎することを求められることがあります。



肢体不自由児特別支援学校の学区(埼玉県南部)

市内に特別支援学校の設置を求める声が強くありましたが、9月定例会で初めて「芝地区の芝園中学校跡地に設置するよう県に要望している」と答弁がありました。

障害者教育については、障害を持たない子どもと一緒に学ぶインクルーシブ教育を目指すべきという考え方もありますが※、現状を考えると一歩前進と言えます。

※例えば、国連は「障害者権利条約」に基づいて、2022年8月日本について審査・勧告を行い、日本は、障害のある子どもも共に学ぶ「インクルーシブ教育」に関する、国の行動計画を作することを求めました。

課題3 地球温暖化対策

地球温暖化が進み、世界中で異常気象が起きるようになってきました。日本でも集中豪雨による水害の危険が高まりつつあります。地球温暖化対策は「待ったなし」と言えます。こうした中、日本政府は「2050年温室効果ガス実質ゼロ」を目標としています。

川口市でも「川口市地球温暖化対策実行計画」を定め、排出防止に取り組んでいます。

この「実行計画」の計画期間は2022年度までとなっており、今年度、改定作業が進められています。実行計画によれば、2014年に川口市内から発生した温室効果ガスは、259万トン(CO2換算)となっています。

また、市役所の事業から出る温室効果ガスは、14万3,000トン(CO2換算)、このうちごみの焼却によるものは8万7,000トン(61.0%)、一般排出量は5万5,987トン(39.0%)となっています。ごみの焼却による排出の97%はプラスチック類の焼却によるものとされており、削減のためにはプラスチック類の分別による再利用が求められます。

一般排出量のうち3万8,418トン(68.6%)は電気の使用量で、削減のためには、これを削減するためには、LEDの導入などによる節電や太陽光発電など再生エネルギーの設備の導入を大規模に進める必要があります。



出所「画球温暖化対策実行計画」平成30年3月1

温室効果ガス排出削減は、取り組みが直接効果として現れること、さらには定量的な把握が容易であることから、計画的な削減が比較的容易な分野と言えます。

「根拠に基づいた政策形成(EBPM)」の必要性について

現代の行政は、政策決定者の直感や経験、思い入れに頼らず調査研究による客観的な根拠による判断が重視されるようになってきました。「根拠に基づいた政策形成(EBPM)」と呼ばれています。目標を達成するために適切な政策なのか、政策に実施にかかる費用や効果・影響などを踏まえ検討をすることにより、最も合理的な行政サービスを提供することが可能となります。国もこの考えを重視しており、2017年に「EBPM推進委員会」を設置、国・地方自治体での普及を図っています。

課題4 新型コロナワクチン 新たな接種会場に

7月に入って新型コロナ感染症はBA.5型のウイルスが拡大し、8月11日に過去最も多い1,305人の陽性が確認されました。9月に入り、新規感染者数は落ち着きを見せています。川口市では、これまでJR川口駅前の旧そごうや市役所本庁舎1階などで集団接種を実施してきましたが、9月定例会で新たな集団接種会場にかかわる予算を可決しました。これにより10月以降、イオンモール川口(安行領根岸)とイオンモール前川で実施されることとなります。

医療機関で実施する個別接種は、これまで通り実施されます。

課題5 教育長・教育委員の交代

2期6年の任期を終える茂呂教育長に代わって、元学校教育部長の井上氏が教育長に指名され、議会に同意が求められました。また、1期目を終える教育委員の再任についても同意を求められました。

私たちは、いじめ問題に真摯に向き合おうとしない教育委員会を質してきました。そして、2名とも3件の「いじめ裁判」にかかわってきた教育委員会の幹部であることからこの人事には反対すべきとの意見もありました。しかし、今後教育委員会をより良い方向に導いてくれることを期待して、賛成としました。